

第57回 岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 兼
平成30年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 岡山県予選会

日時	2018年6月17日	12:00	男子	決勝
会場名	笠岡総合体育館			Mコート 第Ⅱ試合

○ 岡山工業 86	<table border="1"> <tr><td>29</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>-</td><td>17</td></tr> </table>	29	-	19	13	-	22	18	-	25	26	-	17	83 商大附属 ●
29	-	19												
13	-	22												
18	-	25												
26	-	17												

審判名	主 審	岩田友幸						副 審	三村力丸, 大嶋将之					
選手名	背番号	得点	3ホ ^ン ト	2ホ ^ン ト	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ホ ^ン ト	2ホ ^ン ト	フリースロー	ファウル	
池上 武志 (C) *	4	13		6	1	3	守友 良 (C) *	4	28	3	7	5	4	
難波 唯人 *	5	14	3	1	3	2	藤原 進伍 *	5	16	3	2	3	1	
大森 吉貴 *	6	12	4			1	井上 成也 *	6	18	1	6	3	3	
角谷 大成 *	7	9	1	3		1	小林 亮太 *	7	2		1		1	
岡村 竜生 *	8	22		10	2	4	河野 彪雅	8	-					
有松 隼弥	9	-					吉田 圭汰	9	0					
近藤 直希	10	2		1		4	脇 真大 *	10	14	1	4	3	4	
青木 大聖	11	-					山田 陵汰	11	-					
山北 陽太	12	-					槇尾 青葉	12	-					
西本 早稀	13	-					櫻木 翔	13	-					
梶原 壮真	14	-					田村 潤	14	-					
大西 将洋	15	-					崎濱 秀平	15	-					
前花 拓海	16	-					深津 章太	16	-					
中井 敦斗	17	-					森山ハート隼太	17	5		2	1	1	
木岡 裕太	18	14	1	5	1	1	崎濱 秀太	18	-					
合 計		86	9	26	7	16	合 計		83	8	22	15	14	

戦 評

1P 立ち上がり、商大は1-2-2ゾーンプレスで主導権を掴み、商大⑩と⑤のドライブで先制する。岡工は⑥と⑤の連続3ポイントで勢いに乗ると、商大のゾーンを速い展開で突破し、⑧の連続得点などで残り5分には14-6とする。商大のタイムアウト明け、商大⑥、⑤が立て続けに3ポイントを沈めて巻き返しを図るが、岡工も勢いを緩めず、点差はなかなか縮まらない。終了間際、商大はスクリーンを活かした動きのあるオフェンスを④の3ポイントに繋げて点差を縮めるものの、直後に岡工⑧が高さを活かしてリバウンドタップして得点し、岡工29-19商大と点差を10点にまで広げて1Pを終えた。

2P 商大は2-3ゾーンディフェンスに切り替える。岡工は外からのシュートで対応するが、得点に繋がらず、攻めあぐねる。商大は⑤がスティールから速攻を決めると、ディフェンスでもプレッシャーをかけて岡工の8秒ヴァイオレーションを誘い、一気に勢いに乗る。リズムに乗った商大に対し岡工はファウルも嵩み、フリースローを確実に決める商大は残り6分には31-29と2点差まで詰め寄る。終盤は一進一退の攻防が続くが、残り2分、商大は⑩のバスケットカウントで38-38の同点にすると、商大⑤がドライブで岡工のファウルを誘い、フリースローで逆転に成功。岡工は⑩の連続得点で再び巻き返し、岡工41-42商大の1点差で前半を折り返した。

3P 後半立ち上がりは両チームともマンツーマンでスタートする。岡工は⑧が連続で得点し、⑥のスリーポイントの起点になるなどして6点差に広げるが、商大も④のローポストからのシュートやスリーポイントでつないで岡工49-48商大とし、両チームとも流れを渡さない。残り6分、岡工のタイムアウト明けから商大は1-2-2プレスからの2-3ゾーンに切り替える。すると、そこから⑤のスティールなど早い展開から3連続得点し、逆転に成功する。岡工も外からのシュートを試みるが得点に結びつかない。商大は⑩のリバウンドから⑥へのアシストや、⑤から⑦へのアリウープパスなどで得点を伸ばし、残り2分で岡工53-64商大とこの試合最大の11点まで差を広げる。岡工はタイムアウト後、早いパス回しからゾーンを徐々に崩し、⑧のショートコーナーからのシュート、早い展開から⑩のゴール下シュートなどで追撃を見せ、岡工60-66商大で3Pを終える。

4P 開始から岡工は⑤と⑩が連続でリバウンドシュートを決め、気迫を見せる。9分を切り、⑩の速攻が決まり66-66の同点になったところで商大がタイムアウトを取る。タイムアウトが明けても岡工の勢いは止まらず、⑩のスリーポイントで69-66と逆転に成功する。しかし、商大も⑩の粘り強いオフェンスリバウンドなどでチャンスをつかみながら得点につなげていく。対する岡工は右45° から⑥と⑤がスリーポイントを沈め、商大の2-3ゾーンを攻略する。一進一退の攻防が続く、残り2分岡工80-76商大となったところで商大がタイムアウトを取る。タイムアウト後、商大はマンツーマンに切り替え、岡工の得点を防ごうとするが、岡工はドライブから⑩と⑦が連続で得点し、ペースを渡さない。商大も⑥の3連続得点で反撃し、残り12分で3点差とする。商大はオールコートでボールを奪おうとするが、岡工は落ち着いてパスを回し、岡工86-83商大で岡工が2年ぶり5回目の優勝を果たした。

